

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は、2015年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会申し合わせ事項によって行なう。

2. 競技について

1)トラック競技の走路順、およびフィールド競技の試技順はプログラム記載の順とする。

2)男女スプリントトライアスロンの400mについては、200m終了後、番組編成を行う。

番組編成は総合得点の低いものから1組とする。

3)走高跳のバーの上げ方については以下の通りとする。

八種競技 最初に跳ぶ高さを第1日目出場確認の時に、開始の高さを申し出ること。

開始の高さにより2組に編成し、それぞれ開始の高さを決める。

両組ともに練習の高さから、5cmずつあげる。

1m85以降は3cmずつあげる。

七種競技 最初に跳ぶ高さを第1日目出場確認の時に、開始の高さを申し出ること。

開始の高さにより2組に編成し、それぞれ開始の高さを決める。

両組ともに練習の高さから、5cmずつあげる。

1m55以降は3cmずつあげる。

4)七種800mは一組12～15名のオープンスタートとする。

3. 招集について

1)招集場は雨天練習場におく。

2)八種競技、七種競技は両日とも朝8時00分～8時15分までに1階ロビーにて出場の確認すること。

以後の招集は、招集時刻にトラックはスタート地点に、フィールドは競技場所に集合すること。

3)スプリントトライアスロンは、朝8時00分～15分までに1階ロビーにて出場の確認すること。

以後の招集は自分の組、レーンを確認の上、招集時刻に各スタート地点に集合すること。

※各種目を途中で棄権する場合は、必ずその旨、大会総務へ申し出ること。

4. ナンバーカードについて

1)ナンバーカードはそのままの大きさと、胸および背部に確実につけること。

ただし、跳躍競技は胸部背部のどちらか一方でもよい。

2)トラック競技においては、各校で用意した腰ナンバーを右腰やや後方につけること。

なお、八種1500m、七種800mについては大会本部で用意し、スタート地点で渡す。

5. 競技用具について

競技に使用する用器具は主催者が用意したものを使用すること。

ただし、やりについては各自のものを使用してもよいが、必ず検査を受けること。

ヤリの検査は競技開始1時間前から20分間、100mゴール側用器具倉庫で行なう。

検査時間 男子 8:15～8:35

女子 11:00～11:20

6. 表彰について

各種目の優勝者にはトロフィーを授与しその栄誉を称える。

男女スプリントトライアスロンについては、1年生で最上位の者にルーキー賞を贈る。

7. 練習はサブトラックは借用していないので、メインで競技に支障のないところで行うこと。